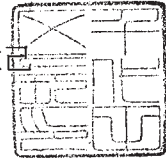


千ま道公第235号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 殿

千代田区長 石川雅己



今後の道路行政について

秋冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より千代田区政に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、先般貴職より、今後の道路行政についての意見・提案の提出依頼を頂いた件につきまして、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお取り計らいをお願いいたします。

記

- 1 提出書類 今後の道路行政についての意見・提案
様式① ② ③ ④の計4部

- 環境の保全、生活環境向上のため、再開発などまちづくりと連動した道路環境対策を推進すること。
- 基礎的自治体を実施する道路関連事業の財源活用については、自由度を持たせる仕組みづくりを行うこと。
- 道路整備中期計画及び社会資本整備重点計画にあたっては、必要な財源を確実に確保すること。
- 生活関連道路については、道路利用者の意見・視点に立った利活用制度を構築すること。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

東京都千代田区

○現状 千代田区は、江戸時代から日本の政治・経済・文化の中心として発展してきたが、都市機能の集積による業務地化は、夜間人口の減少と極端な昼間人口の増大という現象が生じ、多くの行政課題を抱えている状況である。 また、近年の都心の都市施設は、関東大震災後の震災復興、第二次大戦後の戦災復興、そして戦後の高度成長期の業務機能の集中等、それぞれの社会情勢において、整備、更新等が行われ現在に至っている。	○課題 ・都市機能の集積により、多種多様な人々の都心での活動や自動車交通量等の増大、また人々の都市における生活態様の変化等により、道路行政へのニーズが多様化している。 ① 道路における電線類の地中化、歩道の整備等による交通安全施設事業全般の充実 ② 道路構造、機能の見直しや計画的な施設更新（バリアフリー、耐久性、景観、環境面等） ③ 自転車、自動車及び歩行者のそれぞれが安心して利用できる通行環境の整備 ・時代の節目ごとに整備された都市施設（道路、橋梁等）の老朽化に伴い更新時期が集中している。特に橋梁については、震災復興橋が多く占めており、架替え等の時期にきている。 ① 耐震、耐荷性を満たすための橋梁の架替えや補強工事 ② 財政負担の軽減のための橋梁の長寿命化の検討や計画的な維持管理
--	---

②-2 地域の目指すべき将来像

東京都千代田区

道路は、都市における経済活動及びそれぞれの地域の日常生活に欠かすことのできない施設である。

しかし、道路の現状は、幹線道路を除くと狭小な歩道や車道との段差、電柱の林立等、歩行者特に障害者や子ども高齢者等の歩行の障害となっている状況が多く見受けられる。

また、環境負荷が少くない交通手段である自転車、自動車及び歩行者との混在により十分な安全策が取られていない状況等があり、事故の一因ともなっている。

一方、都市計画道路等の未整備は道路渋滞や交通事故の要因ともなり、沿道環境の悪化やCO2の増加等、快適な生活環境を奪うことになるとともに、道路渋滞による移動時間の損失は社会経済活動に少なからず影響を与えている状況である。

これらの課題を解消するためには、電線類の地中化をはじめとした歩道のバリアフリー化や自転車の通行環境にも配慮した道路の整備等、交通安全施設事業全般の充実を図ること、そして都市計画道路等の計画的な整備等々を行い、「誰もが安全で快適に移動できるまち」を目指すことが重要である。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式④

東京都千代田区

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・電線類の地中化整備の促進	・歩道の有効幅員の確保によるバリアフリー化と景観、防災性等の向上	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・公共施設の維持管理計画の策定による計画的な施設整備	・維持管理計画に基づき効率的且つ効果的な補修、更新等を行うことにより、施設の安全性の確保と長寿命化等経済的な維持管理の実行	
・都市交通の安全性、快適性、利便性の向上	・都市計画道路等の整備促進 ・自転車道路の整備促進	・既存道路の交通渋滞の解消による損失時間の減及びCO₂削減、沿道環境等の向上 ・自転車利用によるCO₂削減、自動車、歩行者、自転車分離による安全性の向上	